

とちぎ夢大地応援団活動報告（11月2日実施）

「栃木市 大柿地区」

一昨年からとちぎ夢大地応援団活動に取り組んでいる栃木市大柿地区・大柿の郷をまもる会（田中洋一代表）の平成26年度活動が11月2日、応援団員25名、地元大柿の郷をまもる会会員10名の合計35名が参加して開かれ、ヒガンバナ球根の掘取り・植付け作業を行いました。

県農政部職員11名を含む応援団員は、同地区大柿コミュニティセンター近くの畑に群生しているヒガンバナの球根をスコップを使って掘り起こし、近くの土手や道路わきへ移植しました。

秋晴れのもと、応援団員たちは約2時間にわたる作業で、センター近くの急な斜面の土手などへの移植を終えました。

交流会では、田中代表が「来年秋には皆さんが植えたヒガンバナをぜひ見に来てください」と呼びかけていました。



開会式の様子



作業の手順を教わって一子供連れの応援団員もいました



スコップでヒガンバナ球根の掘り起こし



移植作業



昼食はおにぎりと焼きそば、当地産の蕎麦がき、ピュッフエスタイルでした